

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。

(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp  
ホームページ  
http://www.kenkouro.com/

建交労

の

# とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所  
全日本建設交通一般労働組合東京都本部  
〒135-0048  
江東区門前仲町1-20-3  
東京建設自労会館7階  
電話 03 (3820) 8644 (代)  
fax 03 (3820) 8646  
編集発行人 松田 隆浩  
1部15円組合費に含まれる (〒60円)

## 6月5日 世界環境デー 赤羽駅前宣伝行動

世界環境デーの6月5日(火)

建交労東京都本部は、赤羽駅前で行った宣伝行動を開催しました。40名の仲間が参加し、ティッシュペーパー600枚を配布しました。環境に関わる業種部会が、それぞれ職場の実態を訴えました。

### 【鉄道東京】

JRで働く職場の労働者の多くは、ここ数年一円も賃金が上がっていません。また、どの職場も人手不足で、休憩や睡眠もまともにとることの出来ない毎日です。夏

場の猛暑など関係無く働く職場のため、人を募集しても、きつい・汚い・低賃金で、人が来ない上、入社してもすぐ辞めていきます。会社に対し、賃上げと職場環境の改善は、人手不足解消の最低条件だと提案しています。JR子会社アクセスの作業場は、大量のゴミや空き缶、ペットボトルにまみれ、異臭や害虫が発生しネズミが走り回る、そんな状況のチリ場・集積テナント店員さんも懸念する要素

があります。ある駅では、ごみ分別作業を密室で行っていました。夏には猛烈な暑さと息苦しさの中の作業でした。駅の大がかりな改修工事の実施で改善されましたが、改善要求をしてから3回目の夏を迎えてやつの事でした。JRは、利用者の方に便利でいい、利用しやすい駅を求められています。大量のごみの作業をこなしても設備が汚いままでは、きれいな駅の提供は出来ません。会社に対し、改善を求めていきます。



清掃車運転手・JR駅清掃員・公園清掃員などはたらく仲間が集まりました



はたらく労働者の労働条件向上で、環境美化推進を！

### 【関東支部】

私たちは都内23区でゴミ収集・運搬の仕事をする、労働者で組織する関東支部です。23区清掃事業は2000年に施行された「地方分権一括法」や都区制度改革によってゴミの収集・運搬、中間処理などが東京都清掃局から、23区に移管されました。以降、合理化により積載量が増え車両火災も増加し、ゴミ収集・運搬施設管理は下請けに丸投げされ作業現場では事故も増え、死亡事故も発生しています。区によっては6〜7割が民間作業員に丸投げされ、現場では混乱もおきています。人手不足が深刻になりつつあり、このままではその日分のゴミ収集も出来ない事も生じる可能性があります。仕事量は増えても、車両が減られ労働時間が増える中で正規社員は減り、労供労働者、アルバイトの非正規の労働者が増えていきます。夏場の暑い時など休憩時間も少なく、過酷な業務につきながら、低賃金で、年収も300万円に満たない人も少なくなく、将来に不安を持って働いています。人材を確保するためにも将来ある若い人達が安心して仕事や生活ができる環境を作る事、正規雇用労働者を増やす事が求められます。下請運賃・人件費の値上げが必須です。

2019年にはラクビーワールドカップ、2020年に東京オリンピックが開催されます。日本の首都である東京を綺麗な街にする責任は東京都・23区にあり、行政が責任を持って行う事が責務です。

### 【高齢者部会】

建交労事業団部会は都内の都立公園・区立公園・道路の清掃を行っている労働者で構成されており、おおよそ60歳以上の高齢者で、公園に来る人、道路を歩く人が気持ちよく利用できるような毎日元気に誇りを持って働いております。私たちの仕事はほとんどが東京都・各市区から発注される公共事業です。入札により仕事を確保するため毎年、来年度の仕事をどうなるかわかりません。そんな不安を抱えながら一生懸命働いております。高齢者の仕事を何とか確保しようと頑張っております。自治体にはたつきかけ、なんとか安定した仕事が出るよう運動しております。もし、皆さんにそんな話が耳にはいりましたら是非応援して下さい。今日は環境デーということで、今一度環境について考えてみようという日です。ひとりひとりの小さな気遣いが街を見違えるようにきれいにします。是非皆さんも環境に対する思いやりをお願い致します。

## 悪天候の中、平和行進に参加 「日本政府は条約批准を」



合流した神奈川県本部伊藤委員長(写真右)

原水禁世界大会実行委員会が呼びかけた平和行進（東京―広島コース）が5月6日、東京・江東区の第五福電丸展示館前から出発しました。

この日は、北海道―東京と四国コースも出発しました。

出発前の集会で、東京在住の被爆者でつくる東友会の家島昌志理事は「今年こそ核兵器禁止に向け一歩でも近づきたい。その糸口、曙光（しよこう）が見えるよう歩み続ける。日本政府は米国におべっかばかり使わず、戦争被爆国として独自の道を目指すべきだ」とアピールしました。

昨年の核兵器禁止条約採択を受け、参加者は「被爆国日本の

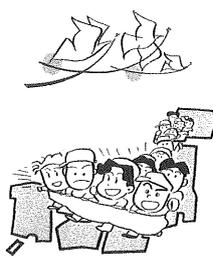
政府に条約批准を迫ろう」と訴えました。

翌7日の平和行進は、昼過ぎから豪雨に巻き込まれましたが、東京都本部の笹原さんや、年金者組合の相馬さん（元運輸一般）と手を取り合い川崎市役所まで踏破しました。

川崎市役所近くの公園では、神奈川県本部の伊藤委員長と赤羽さん（県南支部）が出迎え、建交労の引き継ぎ式を行いました。私が歩いた道中は、ほぼ豪雨の中で雨合羽を着たもののずぶ濡れの状態となりましたが、現在の国会情勢、特に憲法改悪をたくらむ安倍政権の動きを許さないために毎年この時期に街頭を宣伝行進し「核廃絶・平和

の実現」を訴えつづける重要さと継続の大事さをあらためて痛感しました。

今年も、残念ながら川崎商店街を練り歩く宣伝は中止となりましたがみんなですぶ濡れになりながら解散地に例年と同じ規模の参加者が集まり走破を祝いあい、連帯感が一層強まったと感じました。【全国労職部会（都本部東部支部）藤好 重哲】



## 5. 24全労連・東京地評 争議支援総行動 建交労・京王新労組支援共 闘会議 本社前宣伝行動！



京王電鉄は争議を早期に解決しろ！！



京王電鉄は組合差別をやめろ！

建交労・京王新労組支援共闘会議は5月24日に取り組まれた全労連・東京地評主催の争議支援総行動にエントリーし京王電鉄本社前での宣伝行動に取り組みました。

中労委での結審から1年後、会社が都労委救済命令を覆そうと「後出しじゃんけん」で提出した準備書面を、取り扱うとする中労委の姿勢を許すまいと、組合はたたかいを続けてきました。未だにこのたたかいは、混沌とした状態が続いています。

一方、定年後の継続雇用延長地位確認裁判は5月28日に結審し判決日が確定する予定です。そのような状況の中、会社にも早期解決を迫る宣伝行動となりました。当日は、早朝かつ京王

### 組合掲示板

- 6月30日（土）9時半～建交労東京学校第2回／東京地評ラバスホール（大塚駅）
- 7月14日（土）9時半～建交労東京学校第3回／東京地評ラバスホール（大塚駅）
- 7月30日（月）8時～反核トラックキャラバン／都庁前
- 8月3日（金）9時半～東京労働局交渉／東京労働局11階1-2共用会議室（九段下）
- 8月4日（土）～6日（月）～原水爆禁止2018年世界大会（広島）
- 8月25日（土）～26日（日）第64回日本母親大会 in 高知
- 9月1日（土）～3（月）～建交労中央定期大会
- 9月9日（日）～建交労東京都本部第21回定期大会／トラック健保会館（市ヶ谷駅）

また、都本部と京王新労組は、中央労働委員会に対しても要請行動を取り組んでいます。次は、京王新労組支援共闘による独自の行動として、6月28日（木）9時より、京王プラザホテル王子で開催される京王電鉄株主総会に合わせて、宣伝行動に取り組みます。争議早期解決のため、ご協力をよろしくお願い致します。【京王新労組支部 執行委員長 佐々木 仁】

線聖蹟桜ヶ丘駅という多摩地域での取り組みにも拘わらず、多くの支援者が結集しました。都本部からも浅井副委員長はじめ、多くの仲間が駆けつけました。

主催者を代表して全労連の斉藤常任幹事の挨拶から始まり、支援共闘からは伊藤支援共闘議長（元地評議長）、交運に結集する労働組合として国土交通労組から山本中央執行員長、JAし争議団からは鈴木副団長から挨拶を頂き、京王電鉄を包囲することができました。その後、主催者ら5名が本社内に入り、争議の全面解決を求めて要請を行いました。争議支援総行動は、都内で争議を抱える組合が各企業に対し、早期解決を迫る行動で丸1日かけて行われます。